

令和7年度 社会福祉法人 聖マリア会 事業計画

1. 基本方針

近年の介護業界においては、介護人材不足の状況下でサービスの質の向上を図るため、介護ロボットやICT等のテクノロジーの活用を支援し、生産性の向上を通じた働きやすい職場づくりを進めることが重視されている。

当法人でも介護ロボットを導入しICT化を促進しているが、さらなる介護現場における生産性の向上を推進し、業務改善で生み出された時間を有効活用して法人の理念に合わせた質の高いケアを提供していくとともに、職員が定着する働きやすい職場づくりを行っていく。

また物価高、光熱水費高騰など取り巻く環境の変化に対応するため、健全で適正な法人経営を行う。

それらに対応した基本方針は以下のとおりである。

(1) 理念の実現

① 利用者の尊重と自立支援

ノーリフティングケアの取り組みを継続し、確かな知識と技術でより良いサービスを提供する。利用者を尊重し、一人ひとりの思いに寄り添った質の高いケアを提供していく

② 介護現場における生産性の向上

ICT化を計画的に定着させることで「ムリ」「ムダ」「ムラ」のない業務改善を行い、限られた人数でも専門性の高いケアを効率的に提供し、自立支援、重度化防止に向けた取り組みを行う

(2) 働きやすい職場環境の実現

① オンライン研修や委員会を通じて接遇力や人間力を向上させ、キャリアアップに向けた支援を行う

② 成長が実感できるキャリアパス制度を運用し、職員の能力、意欲を正しく評価する人事考課制度を導入する

③ 職員及び利用者からのハラスメント対策を強化する

④ 職員の心身の健康保持促進を図り高齢者虐待防止に向けた施策を充実させる

⑤ 子育てや介護等職員事情に応じた多様な働き方を充実させ家庭と仕事の両立を推進する

(3) 健全で安定的な財務基盤の確立

中期経営計画を基に適正な収益を確保し、将来を見通した計画的かつ効率的な事業運営を行うとともに透明性の高い財務管理を行う。

① 経営状況と財務状況を正確に把握し、収益性・効率性を考慮した運営を進める

② 物価高及び光熱水費の高騰に対応する為、経費削減について具体的かつ計画的に進める

③ 利用者及び職員に有益な加算を取得する

④ 建物設備等を計画的に修繕、更新する

(4) 地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進

① 住み慣れた地域での繋がりを大切にした地域貢献活動や地域交流会を行う

② 感染症や自然災害に備えた事業継続計画（BCP）の運用を行う

2. 経営理念

(1) 「利用者の尊重」

利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します

(2) 「自立支援」

利用者の持つ能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう支援します

(3) 「安心した生活」

利用者や家族が安心して生活できるよう支援します

(4) 「地域との連携」

地域住民やボランティアとの連携・協力を深めるとともに地域の福祉サービスの拠点を目指します

3. 稼働目標

	(利用定員)	(稼働率)
(1) 特別養護老人ホーム	58名	95%
(2) ショートステイ事業	9名	40%
(3) デイサービス事業		
ア. 地域密着型	18名	85%
イ. 認知症対応型	12名	(休止)
(4) ケアハウス	30名	90%

4. 施設運営

(1) 特別養護老人ホーム

入所者が安心して尊厳ある生活を続けられるように、ノーリフティングケア(24時間トータルケア)の取り組みを継続していきます。そして確かな知識と技術で一人ひとりの思いに寄り添った質の高いケアの提供と重度化防止に向けた対応を強化していきます。

その為にICT化を促進し、介護ロボット(見守り機器)や介護記録ソフトを有効活用し、生産性向上に繋がる「ムリ」「ムダ」「ムラ」のない業務改善を行い職員が安心して働ける職場環境を整えていきます。

強 化

- ① ノーリフティングケアに基づいた個別ケアの提供
- ② 重度化防止に向けた機能訓練、口腔衛生管理、栄養ケアマネジメントの取り組み
- ③ ICT、介護ロボットの運用と課題の抽出

継 続

- ① 楽しみのある生活の為の余暇活動の提供
- ② 看取りケアのシステムの周知徹底
- ③ 介護事故の予防と再発防止の為の対応
- ④ 虐待・身体拘束を発生させない体制
- ⑤ 災害・感染対策に強い体制

(2) 短期入所（ショートステイ）事業

在宅で生活する利用者が、施設の中でも可能な限り自らの生活習慣を変えることなく、自分らしく個を尊重した日常生活が安心して送れるようチームで連携して支援します。また、特養で取り組むノーリフティングケアの知識と技術の実践で一人ひとりに合った質の良いケアを提供します。ご家族が必要時あるいは一時的な休息をとることにより、より良い在宅生活を継続することを目的とします。

強 化

- ① 思いに寄り添った個別ケアの提供
 - ・不慣れな環境でも安心して生活を送ることができるよう、思いに寄り添った援助で信頼関係を築き、利用者の心身の状態に応じた安全で快適な生活を支援する
 - ・質の高い支援計画を作成し実行することで、満足度に繋げる
- ② 介護事故の予防及び早期対応と再発の防止
 - ・介護事故を未然に防止できるよう、個人の心身状態に沿った環境整備と援助を行う
 - ・介護事故や疾病が発生した場合の早期対応を含めたリスクマネジメントの充実を図る
- ③ ノーリフティングケアに基づいた個別ケアを提供する。知識と技術の向

上を図り、心身の負担軽減と機能活用で質の高い個別ケアを提供する

継 続

- ① ご家族、他機関と情報を共有し、意思や意向に沿った柔軟なサービスの提供
- ② 在宅生活を継続するための身体機能の維持活用
- ③ 不適切ケアを改善し、尊厳のある援助と虐待を発生させない体制
- ④ 災害や感染症対策に強い体制
- ⑤ I C T（情報通信技術）、介護ロボットの活用

（3）地域密着型デイサービス事業

法人の理念に基づき、利用者を尊重したうえで能力に応じた支援を行い、利用者・ご家族がともに安心して在宅で生活できるよう努めていきます。

職員の接遇及び資質を向上し、利用者に満足していただけるようサービスの充実を図ります。また他事業所に対するアピールや連携強化により、利用者確保に努めます。

強 化

- ① 利用者・ご家族の要望に沿った柔軟な対応
 - ・利用者の希望に沿った個別ケアの実施
 - ・利用者やご家族の急な困りごとに柔軟な対応を行う
- ② 外出も取り入れた行事の充実
 - ・季節のドライブや買い物ツアーなど利用者の機能訓練や認知機能訓練を目的に参加してもらい、季節感・気分転換してもらえるよう努める
 - ・季節ごとの創作活動やイベントを開催して、充実した時間を多く持つことができるよう努める

継 続

- ① 他事業所やケアマネージャーとの連携を強化し、利用者増に努める
- ② 日常的に感染症予防対策を徹底し、施設に持ち込ませないよう細心の注意を払う
- ③ 外部・内部研修の充実を図り、専門職として知識と技術向上を目指す

(4) ケアハウス

高齢化・重度化する入所者に適切に対応するため、各個人の状況把握と状態に合った必要な介護サービス等が受けられるよう援助していきます。また事故防止のため適時居室を訪室し、環境設定などの助言や支援を行っていきます。

関連事業所と情報共有を行うことで連携強化を図り、入所者が少しでも長く当施設において自立した生活が送れるよう努めます。

強 化

- ① 悩みや不安に対する相談に迅速かつ適切に対応し、解決に向けての支援に努める
- ② 入所者の異常の早期発見ができるよう身体状態の把握に努める
- ③ 入所者の事故防止・安全確保に最善を図り安定した生活を送っていただく
- ④ 他事業所・支援事業所等との連携で、稼働率 90%以上を目指す

継 続

- ① 入所者、ご家族、他事業所、業者に接遇意識を持って接する
- ② 感染症対策等、適時分かりやすく正確な情報の発信を行う
- ③ 事故や健康状態が損なわれた時に、速やかに関連先と連携し、早期対応ができるよう援助する
- ④ 施設の諸設備・備品等の修繕に適時対応し、防災対策にも努め、安全で快適な施設環境の維持に努める

5. 地域社会との連携

- (1) 各種行事を通じて、入所者のご家族や地域との連携を図り、地域の中核施設としての役割を果たす
 - 富田保育所、富田小学校との交流
 - 地域交流会の開催
- (2) ボランティアや介護実習生の積極的な受け入れ、地域福祉の推進に努める
 - ボランティアの受け入れ
 - 実習生、介護等体験の受け入れ
 - 中学校での福祉体験学習への講師派遣

- (3) 富田総ぐるみこどもまもり隊への参加を継続するとともに「青色防犯パトロール隊立寄所」としての役割を果たす
- (4) 他地区災害時の応援、福祉避難所の機能強化、地区の防災意識の維持向上等に努める

6. 職員関係

(1) 職員配置状況

7.4.1

① 特別養護老人ホーム（短期入所含む）

	職 種	現員	摘 要
1	施設長(管理者)	1	常勤、ケアハウス、デイサービス兼務
2	施 設 次 長	1	常勤、ケアハウス、デイサービス兼務
3	総 務 課 長	1	常勤
4	生活相談員	1 (1)	常勤 介護支援専門員と兼務
5	看 護 職 員	6	常勤4名、非常勤2名
6	機能訓練指導員	1	常勤
7	介護支援専門員	2	常勤、生活相談員と兼務 非常勤、介護職員と兼務
8	介 護 職 員	28 (1)	常勤専任23名、非常勤5名 非常勤、介護支援専門員と兼務
9	管理栄養士	1	常勤、ケアハウス、デイサービス兼務
10	栄 養 士	1	常勤、調理員と兼務
11	調 理 員	4 (1)	常勤3名、非常勤1名 常勤、栄養士と兼務
12	事 務 員	1	常勤
13	用 務 員	4	非常勤4名
14	介 助 員	2	非常勤2名
計		54名	(正職35、嘱託2、パート17)

② デイサービス（地域密着型）

	職 種	現員	摘 要
1	管 理 者	(1)	兼務
2	生 活 相 談 員	1 (2)	常勤 介護職員と兼務2名
3	機能訓練指導員	(1)	非常勤、看護職員と兼務
4	看 護 職 員	1 (1)	非常勤、機能訓練指導員と兼務 常勤、介護職員と兼務
5	介 護 職 員	4 (1)	常勤1名、生活相談員と兼務2名、看護職員と兼務1名 常勤、運転手、用務員と兼務
6	介 助 員	1	非常勤
7	調 理 員	1	常勤
8	運 転 手	1	常勤、介護職員、用務員と兼務
9	用 務 員	(1)	常勤、介護職員、運転手と兼務
計		9名	(正職5、嘱託1、パート3)

③ ケアハウス

	職 種	現員	摘 要
1	施 設 長	(1)	兼務
2	事 務 員	1	常勤
3	生 活 相 談 員	1	常勤
4	介 護 職 員	1	常勤
5	調 理 員	1	常勤
計		4名	(正職4)

全部門 合計 67名

内

正 規 職 員	44名
嘱 託 職 員	3名
パートタイム職員	20名

(2) 各種会議・委員会の開催

	会議名	目的	対象者	開催状況
1	運営会議	業績向上にむけた連携	施設長他各部門代表 10名	月に1回
2	生産性向上委員会	介護現場における 生産性向上の推進	施設長他各部門代表 10名	3月に1回
3	BCP 会議	緊急時の事業継続 計画の具体的な運用	施設長他各部門代表 10名	半年に1回
4	衛生委員会	職員の健康障害防止 健康保持増進	施設長、衛生管理者他 6名	月に1回
5	特養職員会議	業務推進、研修報告 処遇方法検討	処遇関係職員全員 30名	随時
6	特養入所検討委員会	入所判定会議	施設長、施設次長、 生活相談員、ケアマネ、 第三者委員(2名) 6名	3月に1回
7	デイ運営推進会議	事業運営の透明性 地域との連携確保	管理者、生活相談員、 利用者家族、民生委員、 市職員、包括支援センター職員	半年に1回
8	デイ職員会議	業務推進、研修報告 処遇方法検討	生活相談員、看護職員、介護職員	毎月1回
9	各種委員会	業務推進	特別養護老人ホーム関係職員	
	◦ 虐待防止	虐待防止	施設長、介護職員等 9名	年に1回 随時
	◦ 身体拘束廃止	身体拘束廃止	施設長、介護職員等 9名	3月に1回 随時
	◦ 事故発生防止	介護事故の防止 早期対応・再発防止	施設長、生活相談員等 10名 (デイ・ケアハウス合同)	3月に1回 随時
	◦ 褥瘡発生予防	専門性の高い 生活援助	施設長、看護職員等 10名	年に1回 随時
	◦ 感染症防止	専門性の高い 生活援助	施設長、看護職員等 13名 (デイ・ケアハウス合同)	3月に1回 随時
	◦ 医療的ケア	専門性の高い 生活援助	施設長、看護職員、 介護職員等 8名	2月に1回 随時
	◦ 食 事	口腔ケア機能向上、 楽しみのある食生活	栄養士、調理員、介護職員、 看護職員 4名	毎月1回
	◦ ショートステイ	専門性の高い 生活援助	生活相談員、看護職員、 介護職員、ケアマネ 4名	毎月1回
	◦ 接 遇	尊厳のある生活の提供 認知症ケア	生活相談員、看護職員、 介護職員等 (デイ、ケアハウス合同)	各部署3月に1回 全体年に1回

(3) 職員研修の実施

① 研修目的

- 教育研修を通じて職員一人ひとりの能力開発を図り、施設全体のレベルアップを目指す。
- 職員の専門性の向上を図る意味で外部の研修に参加させ、思考を柔軟にし、職場の活性化を方向づける。
- 研修を通じ、他職種との協働体制の確立を目指す。
- 職員の「人間性」・「人間関係力」・「チーム力」・「職場の安全と効率化意識」を高め、人間的魅力と主体性のある福祉人として成長することにより、法人がめざす地域福祉サービスに貢献することを目的とする。

② 外部研修会への参加（オンライン研修を含む）

- 老人福祉施設協議会（全国、四国、愛媛県、東予地区）主催の研修会
- 愛媛県社会福祉協議会、愛媛県在宅介護研修センター主催の研修会
- 社会福祉施設経営者協議会（全国、四国、愛媛県）主催の研修会
- その他医療・福祉団体等主催の研修会

③ 内部研修の実施

- 新規採用職員を対象にした初任者研修
- 利用者の処遇向上の為の実務研修（口腔ケア、排泄援助、ポジショニング、ノーリフト、入浴介助）
- 一般職員を対象に人間力・現場対応力向上研修
- ネット配信を利用した専門性の高いフォローアップ研修
- 入所者・利用者の人権の擁護・虐待の防止等のための研修
- 職員一人ひとりが安心・安全に働くことのできる環境づくりのためのハラスメント対策研修
- 介護施設の個人情報保護及び秘密保持・プライバシー保護の研修
- 生産性向上の為のICT活用研修

7. 設備更新、備品購入計画

① ケアハウス居室用エアコン（1台）	130千円
② ケアハウス玄関風除室自動ドアセキュリティー化工事	294千円
③ リモートコントロールベッド（2台）	400千円

④	食器消毒保管庫	517 千円
⑤	防犯カメラ	638 千円
⑥	事務用 PC	376 千円
⑦	個別機能訓練加算用 PC	670 千円
⑧	メインルーター	176 千円
⑨	デイサービス熱源循環ポンプ	462 千円